

シリーズ: 経営の高度化に向けての知の統合

～シリーズ第 4 回 経営シミュレータとその課題～

日 時 : 2009 年 10 月 1 日 (木) 13:20 ~ 16:30
 会 場 : 筑波大学 東京キャンパス (東京都文京区大塚 3-29-1) G501 室
 地下鉄丸ノ内線茗荷谷 (みょうがだに) 駅下車「出口 1」徒歩 3 分程度
 主 催 : 横幹技術協議会、横幹連合
 共 催 : 統計数理研究所リスク解析戦略研究センター
 参 加 費 : **横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。**
【上記以外】 一般 5,000 円
 参加申込 : **【事前登録】** オンライン申込 http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum_22_1.cgi?step=1
 又は、下記の参加申込書にご記入のうえ、fax、電子メールにてお申し込みください。
 (氏名、所属、連絡先 Email、TEL、参加費の支払い方法等をご明記ください。)
【当日申込】 当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】「シリーズ: 経営の高度化に向けての知の統合」

<シリーズ第 4 回趣旨>

経営の高度化を目指した横幹技術フォーラムによる議論も既に3回を数えました。企業やプロジェクトの評価に関わる横断的技法を扱った 1, 2 回、企業活動をモデル化する試みと絡めた第 3 回です。第 4 回はこれら一連の活動の中締めとして、企業の決定を支援するシミュレータ構築に資する議論を深めていきます。具体的には第 3 回の BSC をどのように発展させることが可能か、あるいは、これまで議論が不足してきたプロセスマネジメントとコストマネジメントとの関係などについて触れてみたいと思います。またパネルディスカッションでも、これまでの議論を総括し、今後の方向性を探る議論を行いたいと考えていますので、ふるって参加ください。

また、協議会ではこの活動を発展させるために、企業側メンバーによる 4 回のフォーラムからの問題点抽出を目的とする検討会を開催する予定です。関心のある方は、横幹協議会事務局に別途連絡頂ければ幸いです。

【プログラム】

	総合司会	椿 広計	(敬称略)
13:20-13:25	開会あいさつ	桑原 洋	(横幹技術協議会 会長)
13:25-14:15	<第 1 部 講演会>	松井 正之	(電気通信大学教授)
	◆基調講演		
	「新企業マネジメント法: 利益最大化、ペア理論からポストBSCへ」		
14:15-14:55	◆講演 1	岡田 幸彦	(筑波大学講師)
	「“サービス生産性シミュレータ”の可能性: 管理会計の視点から」		
(14:55-15:05	休憩)		
15:05-15:20	<第 2 部 講演会>	角埜 恭央	(東京工科大学教授)
	◆講演 2		
	「経営シミュレータとデータ」		
15:20-15:35	◆講演 3	椿 広計	(統計数理研究所/筑波大学教授)
	「経営シミュレータの要素: 4 回のフォーラムを総括して」		
15:35-16:25	◆ 総合質疑・パネル討論	講演者、総合司会者	
16:25-16:30	閉会あいさつ	木村 英紀	(横幹連合 会長)

シリーズ：経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第 4 回 経営シミュレータとその課題～

2009 年 10 月 1 日（木） 13:20 ～ 16:30 （筑波大学 東京キャンパス G501 室）

【 講 演 要 旨 】

（敬称略）

基調講演 「新企業マネジメント法：利益最大化、ペア理論からポスト BSC へ」

◆ 松 井 正 之（電気通信大学システム工学科・教授、横幹連合理事）

経営の高度化に向けて、確率アプローチからの新企業マネジメント法のフレームワークの試論をお話する。すでに、利益公式とプロセス資産制約下で、製販にヒントを得たペア理論にもとづいた、ペア戦略マップによる利益最大化戦略法を公表している。他方、BSC による戦略マップ論が展開されているが、限界も指摘されている。このペア理論と BSC の接点と差異から、POS/POP に根ざしたリアルオペレーション世界に向けての統合を考える。

講演 1 「“サービス生産性シミュレータ”の可能性：管理会計の視点から」

◆ 岡 田 幸 彦（筑波大学社会システムマネジメント専攻・講師）

典型的なサービス提供システムでは、顧客や顧客の所有物が外部生産要素として必須の資源となる。それは、“顧客の活動がサービス組織側の活動を引き起こし、それらの活動が資源利用を引き起こす”とでも表現すべきものである。本報告では、この特性をふまえ、サービス提供システムの採算性・生産性をシミュレーションするための 1 つのアイデアを紹介したい。

講演 2 「経営シミュレータとデータ」

◆ 角 埜 恭 央（東京工科大学教授）

講演 3 「経営シミュレータの要素：4 回のフォーラムを総括して」

◆ 椿 広 計（統計数理研究所/筑波大学教授）

●
主催：横幹技術協議会／横幹連合
<http://www.trasti.jp> / <http://www.trafst.jp>
横幹技術フォーラム office-kyg@trasti.jp

<第22回横幹技術フォーラム 申込書>

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

6. 上記5で「(d) その他」に該当する方のみ、参加費についてご記入ください：

- a) 請求書送付が**必要**な場合：【郵送先・ご請求書の宛名書き】〒 _____
b) 請求書送付が**不要**な場合：銀行振込予定 ____月 ____日頃 振込人名義 _____

【お申し込み先】横幹技術協議会 事務局 フォーラム係 tel & fax : 03-3814-4130 email : office@trafst.jp
【お振込先口座】三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通口座 4524554 横幹技術協議会 (オウカンギジュツキョウギカイ)
※銀行振込手数料はお振込主様にご負担ください。

交通案内

■ 筑波大学 東京キャンパス G-501室

http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_campus.html

東京都文京区大塚 3-29-1

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅 (出口1) 徒歩3分

